

愛眼株式会社

2024年3月期第2四半期 経営状況報告



2024年3月期 経営状況の報告

P2: [連結]PLの概要 P11:[単体]既存店の四半期別販売状況

P5: [単体]PLの概要 P12:[単体]品種別売上高の四半期別推移

P6: [単体]主要なPL科目の推移 P13:[連結]BSの概要

P7: [単体]事業部別売上構成の推移 P14:[単体]BSの概要

P8: [単体]営業利益変化要因別説明図 P15:[連結]キャッシュフロー

P9: [単体]従業員数推移 P16:[連結]設備投資·減価償却費·減損損失

P10:[単体]四半期別業績推移 P17:[単体]出退店状況(眼鏡小売事業)



[連結]PLの概要

単位:百万円

	23年3月期 中間期 実績	23年3月期 通期 実績	24年3月期 中間期 実績	前年 同期比	24年3月期 中間期 計画	計画比
売 上 高 (売上比)	7,177 (100.0%)	14,198 (100.0%)	7,664 (100.0%)	106.8%	8,021 (100.0%)	95.6%
売上総利益 (売上比)	5,014 (69.9%)	9,876 (69.6%)	5,206 (67.9%)	103.8% ($\triangle 1.9\%$)	5,506 (68.7%)	94.5% (△0.7%)
販売管理費 (売上比)	5,284 (73.6%)	10,351 (72.9%)	5,190 (67.7%)	98.2% ($\triangle 5.9\%$)	5,389 (67.2%)	96.3% (+0.5%)
営業利益(売上比)	△269 (-)	△475 (-)	16 (0.2%)	_ (-)	116 (1.5%)	(-)
経常利益(売上比)	△209 (-)	△385 (-)	49 (0.7%)	_ (-)	134 (1.7%)	(-)
当期純利益 (売上比)	△388 (-)	△803 (-)	△15 (-)	_ (-)	73 (0.9%)	_ (-)



2024年3月期第2四半期の経営成績

[連結] PLの概要

売上高:7,664百万円(前年同期比+487百万円増、+6.8%増)

売上総利益:5,206百万円(前年同期比+191百万円増、+3.8%増)

売上総利益率:67.9%(前年同期比△1.9ポイント減)

営業経費:人件費や販売手数料等の運営コストの上昇があったものの、 広告宣伝費や支払手数料や改装費用の圧縮など経費コントロールの徹 底に努めた結果、販管費は94百万円減少し、販管比率は67.7%(前年 同期比△5.9ポイント減)となりました。

営業利益:16百万円(前年同期△269百万円)

経常利益:49百万円(前年同期△209百万円)

当期純利益:△15百万円(前年同期△388百万円)

特別損失:11百万円(前年同期134百万円)



- 1. わが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が撤廃され、感染症法上の分類が5類感染症に変更されるなどアフターコロナへの移行が進む中で、社会経済活動の正常化が一段と進展しました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に加えて、エネルギー価格や原材料価格の高騰、円安を背景とした諸物価の上昇が、消費者マインドの低下を通じて消費行動にネガティブな影響を与える懸念があるなど、景気の先行きは依然として不透明で、引き続き厳しい経営環境にあります。
- 2. 営業実績については、新型コロナウイルス感染症による行動制限の撤廃や5類感染症への変更に伴い、これまでコロナ禍で影響を受けてきた店舗での対面型販売は回復傾向にあり、売上高は7,664百万円と前年同期比では増収となったものの、大型商業施設内の店舗を中心に客足の戻りがまだ鈍く、コロナ禍以前の売上水準に完全には戻っておりません。
- 3. 売上総利益率は、商品仕入コストの上昇、セール等の販売戦略や品目別売上構成比の変化などの影響により1.9ポイント減少しました。
- 4. 営業経費は、主に人件費や販売手数料等の運営コストの上昇があったものの、広告宣伝費や支払手数料や改装費用の圧縮など経費コントロールの徹底に努めた結果、販売費及び一般管理費は5,190百万円(前年同期比1.8%減)となり、売上高に対する販管費の割合は5.9%減少しました。
- 5. 特別損失として、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失11百万円を計上 いたしました。



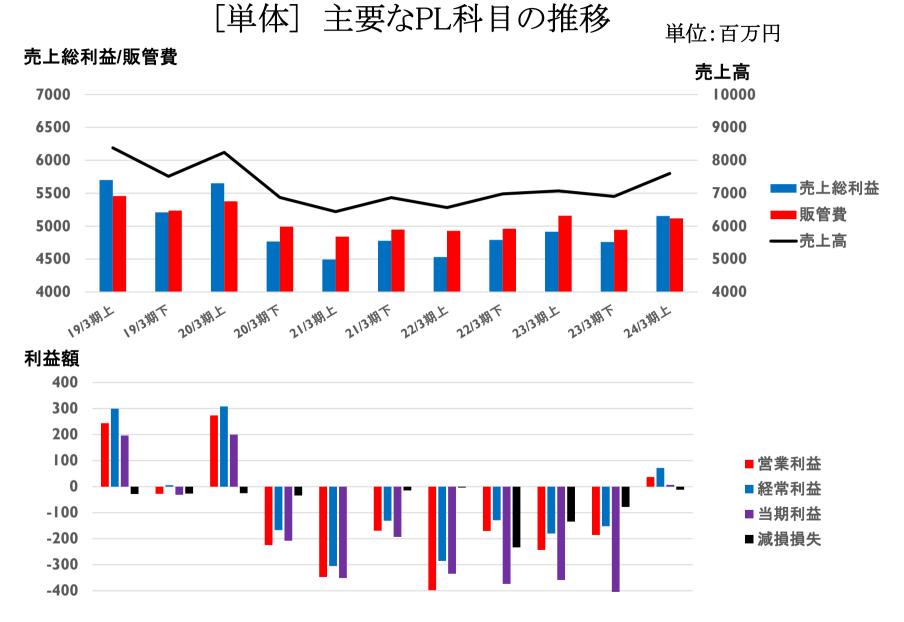
[単体]PLの概要

単体:增収•增益

単位:百万円

	十一元・日 /3 / 1								
	23年3月期 中間期 実績	23年3月期 通期 実績	24年3月期 中間期 実績	前年同期比					
売 上 高	7,068	13,969	7,601	107.5%					
(売上比)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)						
売上総利益	4,914	9,672	5,154	104.9%					
(売上比)	(69.5%)	(69.2%)	(67.8%)	(△1.7%)					
販売管理費	5,157	10,102	5,117	99.2%					
(売上比)	(73.0%)	(72.3%)	(67.3%)	(△5.6%)					
営業利益(売上比)	△243 (−)	△429 (−)	37 (-)	(-)					
経常利益(売上比)	△180	△332	71	_					
	(−)	(−)	(-)	(-)					
当期純利益	△358	△788	6	(<u>-</u>)					
(売上比)	(−)	(−)	(-)						

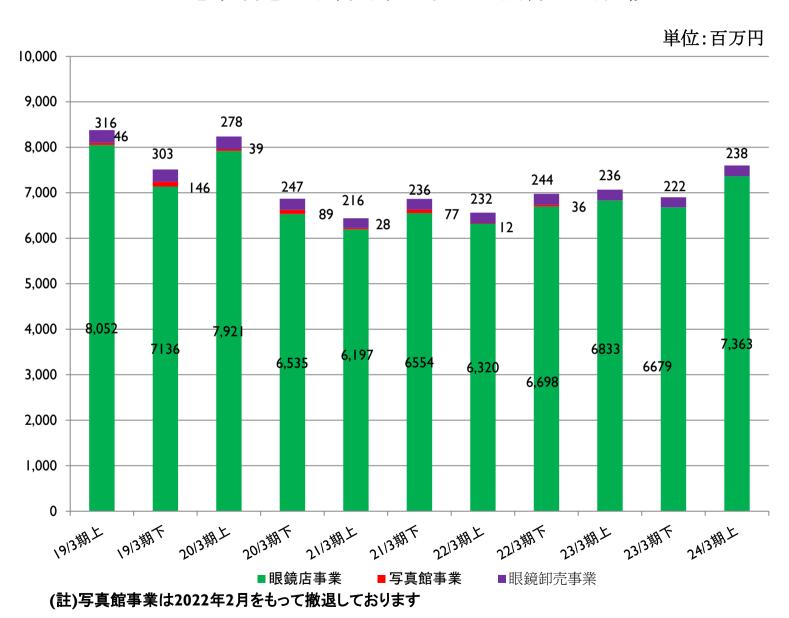




(註)22/3期以降は、収益認識に関する会計基準等の適用後



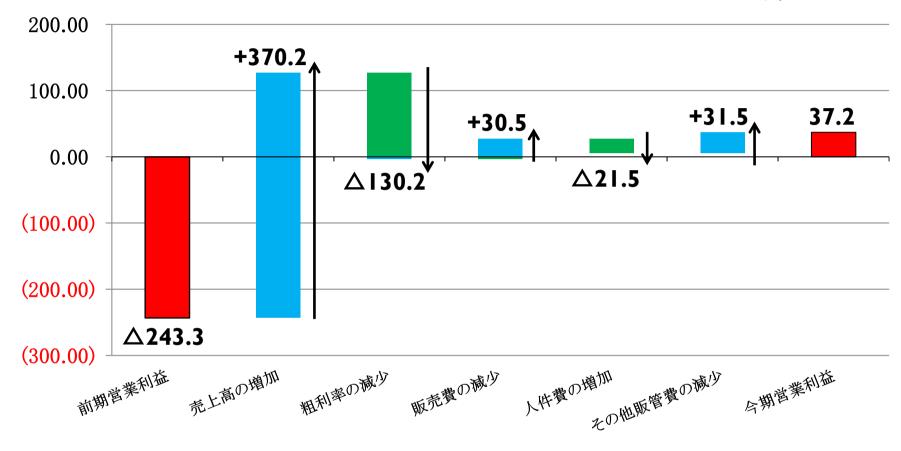
[単体] 事業部別売上構成の推移





[単体] 営業利益の変化要因別説明図

単位:百万円

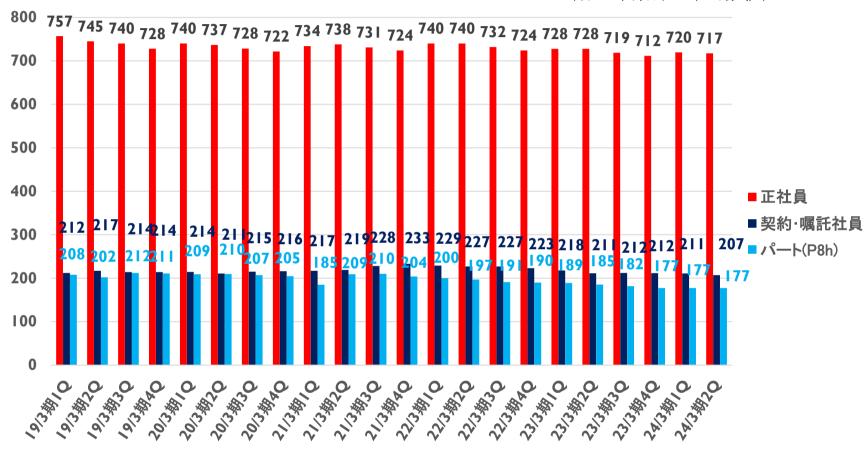


- 1. コロナの影響が顕著に現れた前年より大幅に売上高が伸びました。品種別では、メガネが+99百万円増、サングラスが+238百万円増、補聴器が+207百万円増でした。粗利率は1.7%減少しました。
- 2. 経費面では、人件費(+21百万円)、販売手数料(+23百万円))等の運営コストの上昇があったものの、広告宣伝費(△53百万円)や支払手数料(△6百万円)や改装費用の圧縮など経費コントロールの徹底に努めたことで、販管費比率は67.3%と、前年同期比で△5.6%改善しました。
- 3. その結果、営業利益は、前年同期比より280百万円改善し、37百万円の黒字になりました、



[単体] 従業員数推移

(各四半期毎の平均数値)



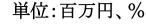
22/3期 新卒正社員17名採用

23/3期 新卒正社員10名採用

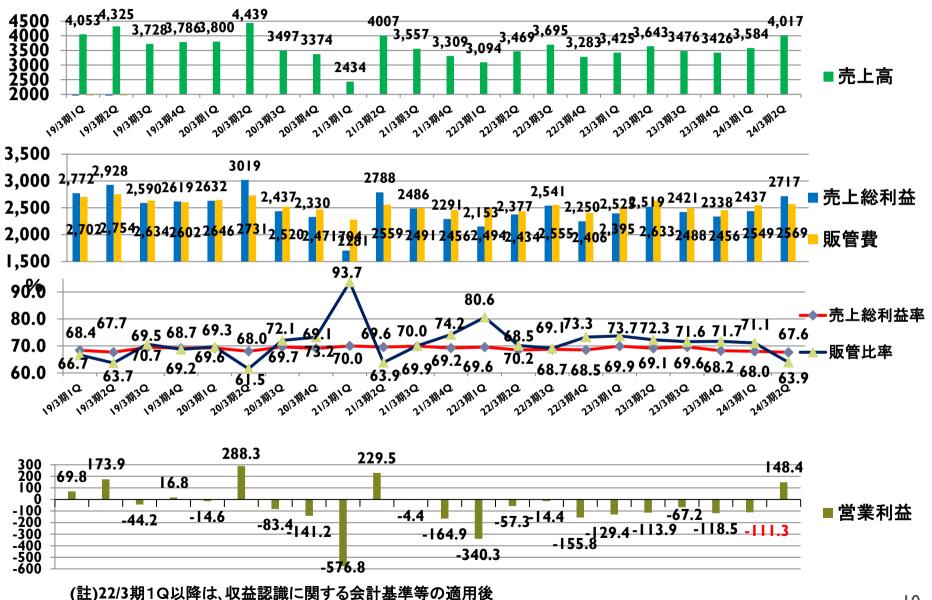
24/3期 新卒正社員15名採用



[単体] 四半期別業績推移

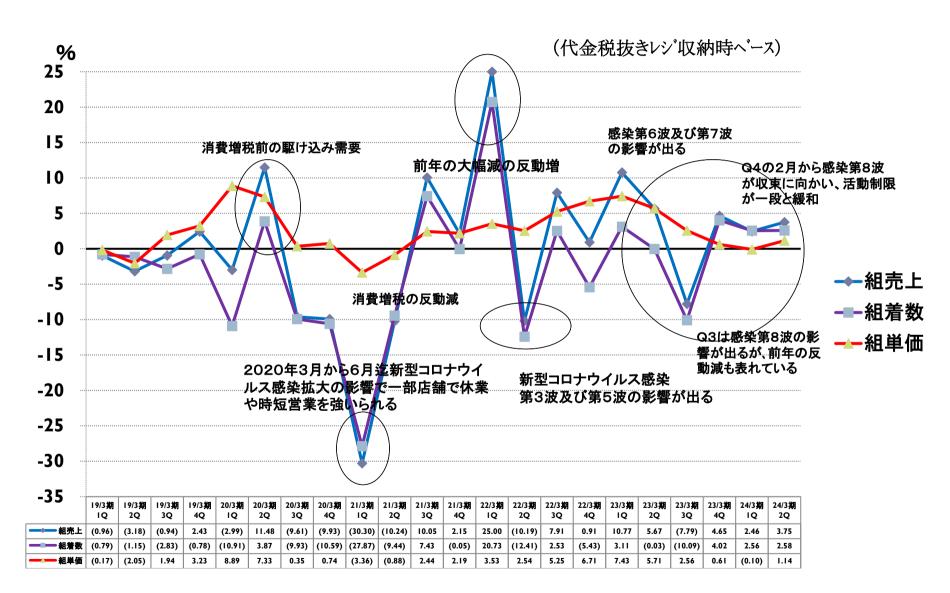


10



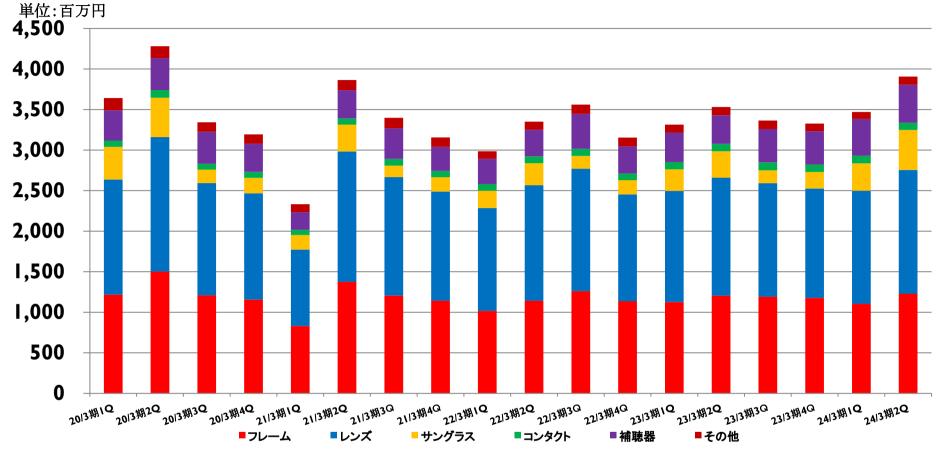


[単体] 既存店の四半期別販売状況 (前年比)





[単体] 品種別売上高の四半期別推移



- 1. 売上高につきましては、全体では、前年同四半期比で増収となったものの、想定したコロナ禍前の売上水準に完全には戻っておりません。
- 2. 中主力品目のメガネは、前年同四半期比で若干の増収を維持し堅調に推移しつつも、コロナ禍以前の売上水準に完全には 戻っておりません。準主力品目のサングラス及び補聴器は、行動制限が撤廃され人流が回復したことによって前年同四半期 比では大幅な増収となっております。



[連結] BSの概要

単位:百万円

	23年3月 期末	期	24年3月 中間期	増減額	
		構成比		構成比	
流動資産	7,424	53.1%	7,588	53.2%	+163
現•預金	4,622	33.0%	4,576	32.1%	△46
受取手形•売掛金	747	5.3%	787	5.5%	+39
商品	1,781	12.7%	2,026	14.2%	+244
固定資産	6,567	46.9%	6,673	46.8%	+105
投資有価証券	522	3.7%	625	4.4%	+102
敷金•保証金	2,688	19.2%	2,707	19.0%	+19
資産合計	13,991	100%	14,261	100%	+269
流動負債	1,318	9.4%	1,573	11.0%	+254
固定負債	528	3.8%	485	3.4%	△42
負債合計	1,846	13.2%	2,058	14.4%	+211
純資産合計	12,144	86.8%	12,203	85.6%	+58
負債•純資産合計	13,991	100%	14,261	100%	+269



[単体]BSの概要

単位:百万円

	23年3月 期末	期	24年3月 中間期	増減額	
		構成比		構成比	
流動資産	7,155	51.5%	7,350	51.8%	+195
現•預金	4,381	31.5%	4,375	30.8%	△6
受取手形•売掛金	744	5.4%	781	5.5%	+37
商品	1,743	12.6%	2,003	14.1%	+260
固定資産	6,735	48.5%	6,842	48.2%	+106
投資有価証券	713	5.1%	816	5.8%	+102
敷金•保証金	2,641	19.0%	2,660	18.7%	+19
資産合計	13,890	100%	14,192	100%	+301
流動負債	1,284	9.2%	1,549	10.9%	+265
固定負債	516	3.7%	475	3.4%	△41
負債合計	1,800	13.0%	2,024	14.3%	+224
純資産合計	12,090	87.0%	12,167	85.7%	+77
負債·純資産合計	13,890	100%	14,192	100%	+301



[連結] キャッシュフロー

単位:百万円

	23年3月期 中間期	24年3月期 中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	83	12	△70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△253	△53	+199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△0	+0
現金及び現金同等物の期末残高	2,050	2,066	+16

[キャッシュフローの状況]

営業活動

税前当期純利益38百万円、減価償却費+92百万円、減損損失+11百万円、 賞与引当金+130百万円、仕入債務の増加+113百万円、売上債権の増加 △39百万円、棚卸資産の増加△245百万円、法人税等の支払△91百万円など

投資活動

店舗建物内装・機械設備などの有形固定資産の取得△136百万円、 敷金及び保証金の回収+73百万円など

財務活動

自己株式の取得△0百万円など



[連結] 設備投資・減価償却費・減損損失

単位:百万円

	23年3月期 中間期	24年3月期 中間期	増減額
設 備 投 資 象	168	100	△67
ソフトウエア投資	8	6	$\triangle 1$
減価償却費	119	92	$\triangle 27$
減損損費	134	11	△122

注1) 設備投資額は、有形固定資産・繰延資産(長期前払費用)・建設仮勘定増減とし、 敷金及び保証金、無形固定資産のリース資産、ソフトウエアは含まず。 注2)減価償却費は、キャッシュ・フロー計算書上の減価償却費



[単体] 出退店状況 (眼鏡小売事業)

23年3月期						24年3月期									
		期首	出店	退店	期	増	出店	退店	£;	増	出店	退店	下期	増	年間増
	インショッフ°	144	1	2	143	減 <u>△1</u>		1	142	減 △1	1	2	141	減	減 △2
眼鏡	1/299/	144	1		143			1	144	$\Delta 1$	1		141		
小売	路面店	79			79				79		1	1	79		
中小	インショッフ。	46		1	45	Δ1		1	44	Δ1	1		45	+1	
東部	路面店	8			8				8		1		9	+1	+1
中部	インショッフ。	17	1		18	+1			18				18		
中印	路面店	26			26				26				26		
開冊	インショッフ°	76		1	75	Δ1			75			2	73	$\triangle 2$	$\triangle 2$
関西	路面店	40			40				40				40		
四国	インショッフ°	5			5				5				5		
中国 九州	路面店	5			5				5			1	4	Δ1	Δ1

年間計画:新店2店舗、閉店4店舗、計2店舗減。



営業戦略について

P19:2024年3月期(64期)の基本方針

P23:愛眼の取組み

P28:商品政策

P40:販売促進政策

P51:補聴器販売

P56:コンタクト販売

P57:眼鏡卸売事業

P58:海外眼鏡販売事業

P59:店舗政策

P60:2024年3月期(64期)の業績予想見直しの考え方

P61:2024年3月期(64期)の連結業績予想



2024年3期(64期)の基本方針

アフターコロナの環境下での事業展開

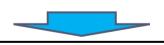
お客様視点

顧客体験(CX)を軸とした愛眼ブランド力の強化

店舗特性に合わせたマーケティング施策の強化

DX推進による店舗オペレーションの効率化

ネット通販事業の強化



集客力アップ

体制



業務の効率化と働き方改革→組織の活性化

国家検定資格「眼鏡作製技能士」への切り替え



基本的な営業政策

- 1. 「お客様の暮らしを、より快適に、より豊かにする企業となることを目指し、安心の技術、納得の商品、気持ちに寄り添うサービスを提供します。」を経営方針として掲げ、「目と耳の健康を守る」ことを社会的な使命と責任と捉え、顧客体験価値の最大化を追求するとともに、アフターコロナ期の事業展開を見据えた取り組みを進めております。
- 2. 販売促進面では、お客様のニーズに的確に対応し、お客様視点を第一とする商品開発に注力し、素材・機能面において高品質でお客様満足度の高い商品の品揃えの充実を図っております。同時に、顧客体験を軸としたお客様に選ばれる「愛眼ブランド」の競争優位性を確保するため、ラジオCM、新聞折り込みチラシやDM、雑誌や動画、WEB広告やSNSなど幅広いメディアを活用した複合的な情報発信の強化や店舗特性に合わせたマーケティング施策の強化を通じて、「愛眼ブランド」の認知度向上に努めてまいります。
- 3. 店舗におきましては、タブレット端末の活用などDX推進により店舗オペレーションの効率性を高め、お客様への接客・サービスをさらに充実させてまいります。
- 4. アフターコロナへの対応として、お客様の利便性や新しい生活様式に合致した形態によって、実店舗との連携を深めたネット通販の強化を図ってまいります。
- 5. 組織面におきましても、業務の効率化並びに働き方改革と女性活躍推進をさらに推進させ、プロアクティブな組織づくりを進めてまいります。人材面におきましては、国家技能検定制度の「眼鏡作製技能士」への切り替えを順次進めております。



アイ・スタイリング・サービス

愛のある眼鏡は、人の中にある。

お客様の嗜好、ライフスタイルに合った最適な商品 の提案を目指す「アイ・スタイリング・サービス」を主軸 にして、愛眼ブランドの強化に取り組んでいます。





◆愛眼マイスター

会社全体で技術力・知識力・接客力の向上をはかるため、独自の社内検定を実施しています。

- ◆国家検定資格「眼鏡作製技能士」への切り替え 従来の検定資格「認定眼鏡士」を、順次、国家検定資格に切り替え、 2025年までに全店配置を目指しています。
- ◆「認定補聴器技能者」資格者を計画的に増員 補聴器専門家の資格である「認定補聴器技能者」を、計画的に 増員しています。







メガネの「プロ」として、メガネの専門店として、最適な商品・サービスを提供



社会貢献活動

快適な「見え方」や「聞こえ方」が将来にわたり続くことで、 暮らしがもっと豊かになる。 愛眼ではこの考え方を軸に一つ一つの取組を大切にします。



未来を見つめて、 いま動く。



- ◆愛眼の社会貢献活動
- ◆保護猫支援プロジェクト

保護猫支援プロジェクト

愛眼株式会社は、ねころりんシリーズの売上の一部を 公益社団法人アニマル・ドネーションを通して保護猫活動 資金として寄付します。





ねころりんの売上の一部を、「公益社団法人アニマルドネーション」を経由し、 保護猫支援活動へ寄付いたします。(1本につき22円の寄付)



- ◆「見える」や「聞こえる」を大切にしたい。
 - ■LOVE EYES WEEKの開催



ご家族やご自身の眼の変化に早く気づいていただけるよう、視力チェックの啓蒙活動を行っております。

■補聴器聞こえの相談会



聞こえに不安を感じられている方が 快適な生活を送れるように、随時「聞こえの 相談会」を実施しております。

■アイガンUV420の提案



目の健康と美容を将来にわたり保護するための推奨商品です。

■マイスター制度



ひとりひとりのニーズを把握し、最適なフレームの 提案や快適な視力補正の提供を実現するための 教育を行っております。



◆愛眼の社会貢献活動

■高齢者免許自主返納



65歳以上のお客様への免許自主返納をしやすい社会環境づくりに貢献。

■クリック募金



大阪市が実施するクリック募金に愛眼も協賛。

■盲導犬訓練所への寄付活動



愛眼店舗全体で募金箱を設置し、盲導犬の育成に 貢献。寄付にご協力いただいたお客様、 誠にありがとうございました。



◆愛眼の安全・安心への取り組み



安全·安心対策

お客様に安心してメガネを選んでいただけるように以下の取り組みと お願いをしております。



通期で、店舗での安全・安心への取組を実施。



2024年3月期 商品政策

スマートプライス

フレーム・レンズ一体価格

- ・明瞭で安心な価格表示
- ・お買い得な価格設定

レンズ付価格 遠近両用 超薄型 乱視用

『最も薄い』非球面プラスチックレンズでも 『超薄型内面累進遠近両用レンズ』でも

追加料金は不要です。※一部商品・セットコーナーは除きます。レンズカラーなどのオブションは別料金になります。

スマー 1 プライ

オ

プ

シ \equiv

例

■追加料金なしで選べるレンズ

単焦点プラスチックレンズ UVカット/無色/汚れ防止・撥水コート/マルチコート

遠近両用プラスチックレンズ UVカット/無色/汚れ防止・撥水コート/マルチコート

中近・近近 プラスチックレンズ UVカット/無色/汚れ防止・撥水コート/マルチコート

■ スポーツオプション

AG Polar Sun Lens UVカット/偏光度99%/裏面マルチ [屈折率] 1.60SP



■特別仕様オプション

面板非面面

偏光レンズ

レンズのすみずみまで歪みやボヤケが 少なく、快適でクリアな視界。

UVカット/無色/汚れ助止・撥水コート/マルチコート [屈折率] 1.60WAS/1.67WAS/1.76WAS

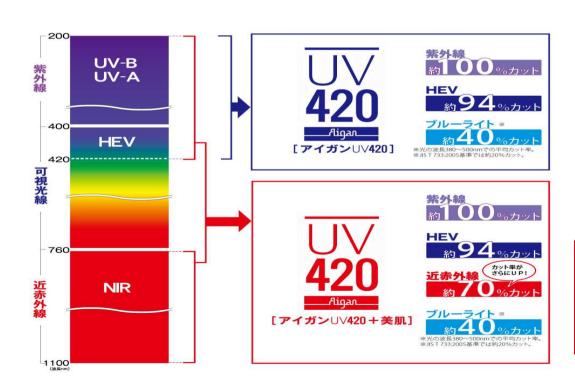




有害光線対策のアイガンUV420提案

■レンズオプション

紫外線(UV)やブルーライトに加え、眼病の原因とされる高エネルギー可視光線(HEV)をカットする「アイガンUV 4 2 0」と、老化につながると話題の近赤外線(NIR)をカットする機能をさらに加えた「アイガンUV 4 2 0 + 美肌」を提案。









『夜間運転可能』な特殊サングラス 2023年5月、「with Driveシリーズ」の新デザイン登場!

with Drive (ウィズ ドライブ)









夜間運転、ナイトラン、夜釣りにも。 コントラストアップ効果のある「夜間運転可能」な特殊サングラス!



2023年6月、お子様や顔幅狭めの方にも掛けやすい スモールサイズが登場!

NEGOTIATOR Small Design(ネゴシエータースモールデザイン)



メンズスタイリッシュデザインフレームとして人気の"ネゴシエーター"程よい弾力性と自然なホールド感で快適な掛け心地を実現。



2023年6月、愛眼オリジナルフレーム・エレガントラインに 丈夫で快適な女性用跳ね上げメガネを追加。

smart fit Flora (スマートフィット フローラ)









必要に応じてレンズ部を跳ね上げられるので、遠くを見る時や近くを見る時など、 用途に合わせてメガネをかけ替える手間が省けとても便利です。



2023年6月、POLICE AIGAN SPECIAL EDITIONから 新デザイン登場!

POLICE AZZURO E MARRONE (ポリス アズーロ・エ・マローネ)



イタリアの粋な男達に愛される、凛とした雰囲気の青(A ZZURRO)と 艶やかな印象の茶(MARRONE)の2色であわす着こなし方

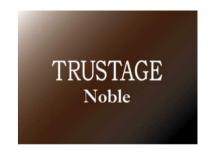
「アズーロ・エ・マローネ」

絶妙なコントラストで洗練されたスタイルを演出するメンズフレームコレクションです。



2023年7月、国産メーカーと徹底的にこだわって企画製造したフレーム TRUSTGE Nobleシリーズに跳ね上げが登場!

TRUSTAGE Noble (トラステージ ノーブル)



跳ね上げの丁番にジュラコンワッシャーを使用しスムーズな跳ね上げと緩みにくさを追求。





熟練した職人が1本1本丹精込めて作り上げたメタルブロウ。 跳ね上げ機構をTRUSTAGEのデザインコンセプトで実現。 βチタン素材をふんだんに使いフレーム全体で しっかりとした掛け心地を実現します。



上質なメガネを好むご婦人用のメガネ 2023年7月、愛眼の国産メガネ「艶麗(エンレイ)」に新デザインが登場。

ENREI ECLAGE(エンレイ エクラージュ)







二つの素材が調和するECLAGEコラボモデル。 パーツごとのカラーコーディネーションにこだわり、 美しさに満ちた輝きのデザインを生み出しました。



新製品

愛眼の釣り専用偏光グラスシリーズに 2023年9月、「OUTDOOR EDITION」が登場!

STORM RIDER OUTDOOR EDITION(ストームライダー アウトドアエディション)





釣り専用偏光グラスブランドSTORM RIDERシリーズ第三弾!! キャンパーやガレージ派に向けて『汗対策』と『ギア的機能』を加えた新シリーズ。



新製品

メイクをしてから、かけるメガネ「POCOP Rouge(ポコプルージュ)」より 新色のライトカラーシリーズが登場!

POCOP Rouge(ポコプ ルージュ)



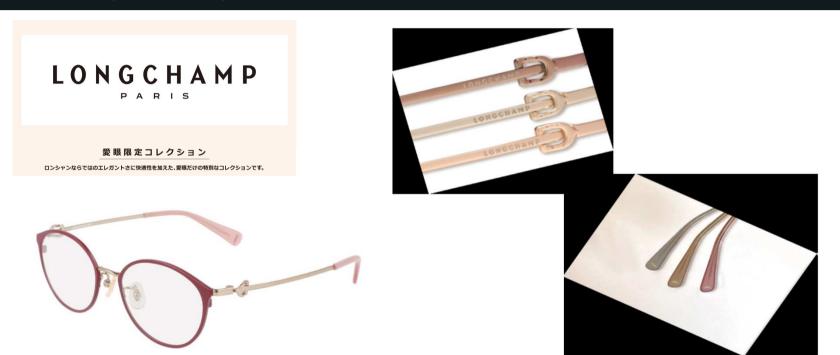
"化粧のように目元を彩る"をコンセプトとした愛眼のレディースライン POCOP Rougeに女性スタッフの意見を取り入れたライトカラーシリーズが加わりました。



コラボ商品

ロンシャンならではのエレガントさに 快適性を加えた、愛眼だけの特別なコレクション。

LONGCHAMP(ロンシャン)



フロントやテンプル、細部にいたるまで細さや軽量化、耐久性とデザインのバランスを極めたコレクションです。

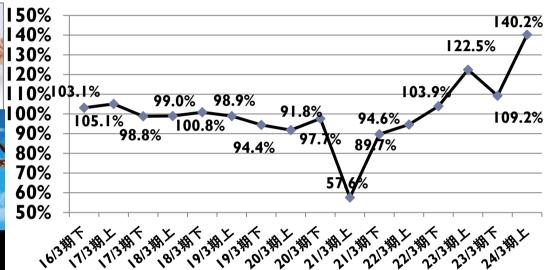


サングラスの販売の強化

■プライベートブランドサングラスの充実



サングラス実績の前年同期比推移



◎サングラスの売上高は、イベント・スポーツなどの屋外活動の自粛が徐々に 緩和され、前年同期比では大幅な増収となり、コロナ禍前の売上水準の9割程 度まで回復しております。





2024年3月期 販売促進政策

販促企画

4月~5月

販売促進施策「メガネクリーニング100万人達成ありがとうキャンペーン」

前年度、「メガネクリーニング100万人達成」にご参加いただいたお客様への感謝として キャンペーンを実施





店頭企画

4月~5月

店頭施策「メガネクリーニング100万人達成ありがとうキャンペーン」





販促企画

6月~8月

販売促進施策「ビッグサマーセール」

6月23日~8月20日までビッグサマーセールを実施 メガネ、サングラスが最大50%オフのお買い得セールを実施





店頭企画

店頭施策「ビッグサマーセール」

6月~8月













販促企画

販売促進施策「決算売り尽くしセール」実施

9月

目玉商品がお買い得な、半期に一度の決算売り尽くしセールを実施





店頭企画

決算売り尽くしセール

9月

半期に一度の決算売り尽くしセール実施











商品販促企画

猫をモチーフとしたメガネ「ねころりん」

◆63期2月からのねころりんシリーズのプロモーションは好調に推移



猫好きな方を対象として、 ねころりんプロモーションを デジタル媒体にて実施。

ユーチューブ広告動画









保護猫支援活動(ねころりんの売上の一部を寄付)

保護猫支援プロジェクト

愛眼株式会社は、ねころりんシリーズの売上の一部を 公益社団法人アニマル・ドネーションを通して保護獲活動 資金として寄付します。







商品販促企画

キッズジュニア販促企画



キッズジュニア用の新ビジュアル設置 また、ママ・パパが選ぶこども眼鏡店にて 2年連続総合満足度第1位を獲得!



購入後も安心 アフターケア!



U-18 3つの安心保証 5つのアフターサービスの実施



ユーチューブにて動画広告を配信。 親子レポーターが実際に店舗での 購入体験を配信します











ジュニア用フレームの充実



商品販促企画

度付きサングラス販促企画











PayPay



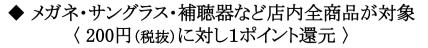
PayPayクーポン企画実施 適時実施

クーポン企画に登録し PayPayでお支払いいただくと 10%オフ(税込5,000円以上対象)

dポイント



◆dポイント5倍キャンペーン



※2022年7月31日でTポイントサービスは終了いたしました。





オンラインショップ

オンラインショップは順調に伸長

アフターコロナへの対応として、お客様の利便性や新しい生活様式に合致した形態によって、実店舗との連携を深めたネット通販の強化を図っております。



コンタクトのまとめ買い企画が好調に推移

ムーミンアイウェア登場!

MOOMIN NECK READING GLASSES

通販限定で「ムーミン」の既成老眼鏡を販売

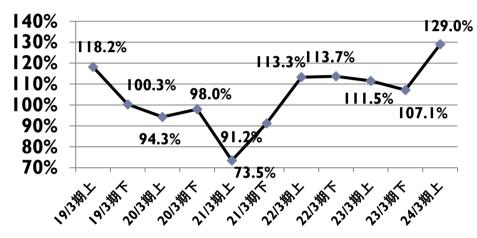
アニメモデル特集



通販限定でアニメ「ブルーロック」 のメガネを販売



補聴器実績の前年同期比推移



◎補聴器の売上高は、2021年3月期上期以降、コロナ禍の下で低調に推移していましたが、2022年3月期以降、前年比では増加に転じ、現在ではコロナ禍前の売上水準の120%程度まで戻しております。



■インパクトとわかりやすさの訴求を強化

シニア層への対応強化

レンタルできる種類の豊富さが好評を得ています。



■全レンタル件数に占める充電式補聴器構成比

2023年 3月期	10月	II月	12月	I月	2月	3月
充電式 構成比	70.5%	73.2%	74.0%	74.6%	73.8%	73.7%
2024年 3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
充電式 構成比	76.2%	75.5%	73.8%	74.2%	76.8%	73.7%



(耳あな型) 🊟

充電式耳あな型(充電器込み)

着けているのがわからないくらい、小さいタイプや、 電池交換不要の充電タイプがあります。

(片耳) ¥179,000~ (両耳) ¥287,000~

(片耳) ¥169,000~

(両耳) ¥267,000~

- ・補聴器を装用した時の快適さ、楽しさをお客様に イメージしていただき、「補聴器の愛眼」をより身近 に感じていただくことで、お客様の安心と愛眼の補 聴器に対する信用につながっています。
- ・期間限定のお得なキャンペーンを実施し、お求めやすさを訴求しています。



(耳かけ型) (233)

充電式RIC型(充電器込み)

耳をふさがず、楽な着け心地の小型タイプや、 脱着が容易なスタンダードタイプがあります。

(片耳) ¥161,000~ (両耳) ¥255,000~

(片田) ¥151,000~

(両耳) ¥235,000~

Panasonic

NAMOH

rignia

※一部取扱いがない 店舗もございます。



久しぶりに会う時は、たくさん話したい。 愛眼で補聴器を試してみませんか?





補聴器の啓蒙活動を強化

◎補聴器体験会イベント開催 聞こえのチェックと補聴器無料体験 を軸に、ショッピングセンター内で 啓蒙イベントを実施



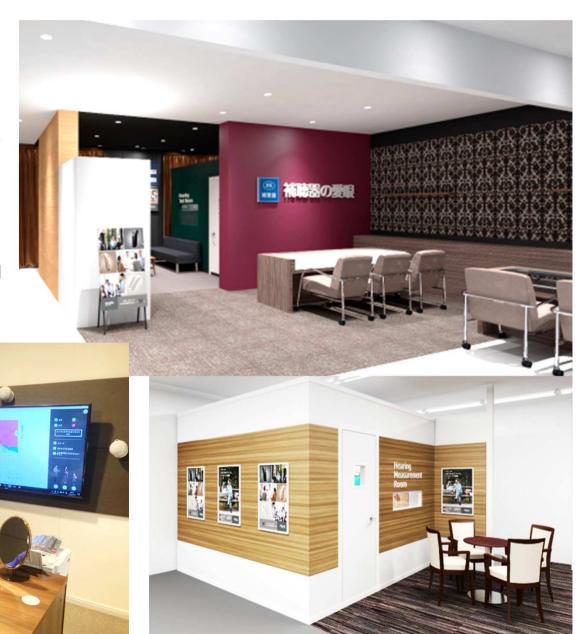






○大阪本店、横浜本店、名城本店に補聴器体感ルームを設置。 様々な音環境を再現して、 最新の補聴器の聞こえと効果が体感できます。

◎2022年3月に「認定補聴器専門店」 として認可を受けました。





◎気軽に聞こえを補いたい、 と考えている方に向け、 ヒアラブルデバイス「Olive」 の取扱いを開始しました。 ご自分のスマートフォンで簡単に 調整できる点も喜ばれています。

◎ライトユーザー獲得に向け、 取扱商品を増やしています。











コンタクト販売

◎女性をメインターゲットに150店舗で コンタクトレンズの販売・演出を強化。 よりわかりやすく買いやすい売り場作り を行っています。



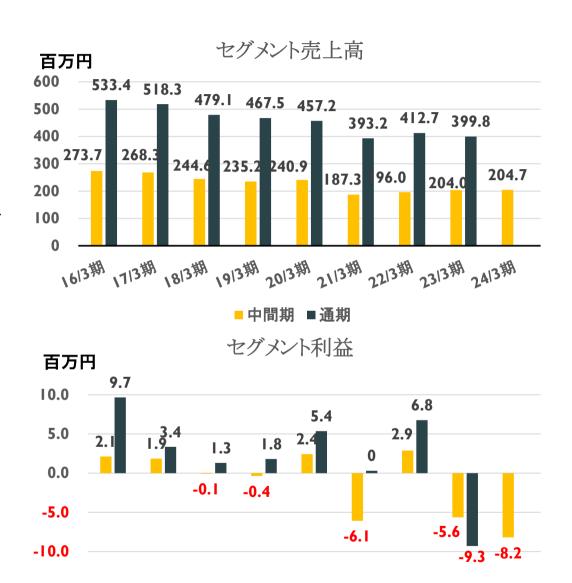






眼鏡卸売事業

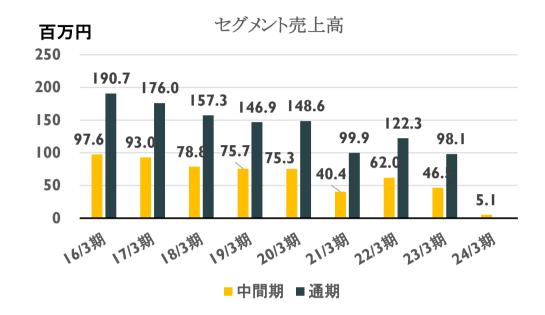
・得意先に対する新商品の投入や販売支援に努めるとともに、新規取引先の開拓に取り組んでおります。

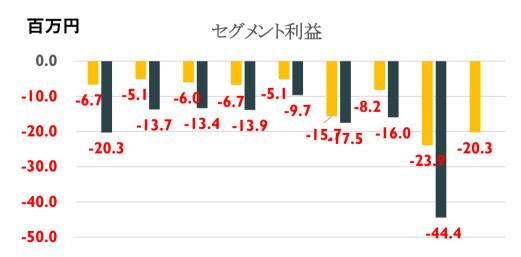




海外眼鏡販売事業

- ・当社連結子会社である北京愛眼眼鏡有限公司は、2022年11月28日開催の取締役会の決議に基づき、現在、現地の法令等に従い、解散及び清算へ向けた諸手続きを進めております。
- ・最終の清算結了日は、未定であります。







2024年3月期 店舗政策

■ 改装:既存店の活性化改装を中心に、中間期迄に5店舗改装

2023年4月 改装 イオンモール石巻店



2023年4月 改装 イオンモール橿原店



2023年4月 改装イオンモール新居浜店



2023年4月 改装 イトーヨーカドー大森店



2023年9月 改装 イオン清水店





2024年3月期の連結業績予想の見直しの考え方

- 1. 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、社会経済活動の正常化が進み、アフターコロナへの移行が急速に進展しております。個人消費面では、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に加えて、エネルギー価格や原材料価格の高騰、円安を背景とした諸物価の上昇が消費行動に与える影響が依然として懸念されるものの、政府による景気の下支えを目途とする各種経済政策への期待が一方で高まっており、個人消費は今後とも緩やかな持ち直しが続くとの見方があります。これらの諸々の情勢や直近の当社の業績動向を総合的に判断し、今年度の業績予想を可能な範囲で見直しました。
- 2. なお、今後の業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。



2024年3月期の連結業績予想

(2023年11月6日に修正した業績予想)

	2023年3月期実績			2024年3月期計画			\t.	
	金	額	売 上 構成比	金	額	売 上 構成比	前 期 増	比 減
	百万	可円	%	百万	万円	%	百万円	%
売上高	14,1	98	100.0	15,	363	100.0	+1,164	+8.2
売上総利益	9,8	76	69.6	10,	571	68.8	+695	+7.0
販売管理費	10,3	51	72.9	10,	419	67.8	+68	+0.7
営業利益	$\triangle 4$	75	_		151	1.0	+626	
経常利益	△3	85	_		206	1.3	+591	_
当期純利益	△8	03	_		97	0.6	+900	_

(註)PLは収益認識に関する会計基準等の適用後